

メッセージアウトライン

週課	第一年 第三課 第二週
単元	マタイの福音書・3
テーマ	再臨を喜んで迎えられる者となる
タイトル	目をさましていなさい
テキスト	マタイ25:1～13
参照箇所	使徒1:3～11
暗唱聖句	マタイ25:13

導入	イエスさまは、地上での生涯の後半になると、十字架にかかること、3日めによみがえること、天に戻ってから再びこの地に来られること(再臨)について、弟子たちに譬えをお話しになりました。
I	<p>イエスさまは、花婿を出迎える10人の娘のたとえ話をなさいました(1～5節)</p> <p>A. 愚かな娘たちは、ランプだけ持って待っていました</p> <p>B. 賢い娘たちは、ランプと予備の油を持っていました</p> <p>C. 花婿の到着が遅くなったので、娘たちは眠り始めました</p>
II	<p>賢い娘たちは、花婿がいつ来てもいいように用意ができていました(6～12節)</p> <p>A. 花婿が到着したとき、愚かな娘たちは、油を買いに行かなければなりませんでした</p> <p>B. 賢い娘たちは、花婿を迎えることができました</p> <p>C. 愚かな娘たちは、祝宴に入ることができませんでした</p>
III	<p>イエスさまは、「目をさましていなさい」とおっしゃいました(13節)</p> <p>A. イエスさまは再び地上に来ることを約束なさいました</p> <p>B. イエスさまがいつ来られるかは誰も知りません</p> <p>C. いつイエスさまが来られてもお迎えできる準備を整えましょう</p>
結論	いつイエスさまが来られても大丈夫なように、準備して待つことが大切です
適用	普段から、イエスさまとよい関係で過ごしましょう！ 私たちにとって「目をさまして待つ」とか「賢い娘たちのようになる」ということは、「イエスさまといつもよい関係でいること」ということができます。私たちは、イエスさまを信じる信仰によって、間違いなく、天国に行きます。だからと言って、いつもイエスさまを悲しませるような生活をしていたら、再臨のとき、喜んでお迎えすることができませんね。普段から、イエスさまと良い関係であれば、突然イエスさまが来られても、困ることはひとつもありません。
備考	

